

施策体系

政策名(基本方針)	3	教育の健康	施策名	13	歴史・伝統・文化を活かした郷土愛の醸成
-----------	---	-------	-----	----	---------------------

施策統括部	教育部	関係課	商工振興課
施策主管課	生涯学習課		

1 施策の目的と指標

対象	市民や市の出身者	意図	合志市の歴史、伝統文化に対する愛着や誇りを持つ
----	----------	----	-------------------------

成果指標

名称		単位
A	合志市の歴史、伝統文化に触れている市民の割合〔市民アンケート〕	%
B	合志市を郷土として愛着を感じていると答えた市民の割合〔市民アンケート〕	%
C	合志市を郷土として誇りを持っていると答えた市民の割合〔市民アンケート〕	%

2 指標等の推移

成果指標	26年度 現状値	数値区分	28年度	29年度	30年度	1年度	評価	背景として考えられること	
A	%	48.7	成り行き値	48.7	48.7	48.7	48.7	○	前年よりアンケートの設問を「合志市の歴史、伝統文化に興味を持っている市民の割合」に修正しました。若い世代の増加により地域の歴史や伝統文化への関心度が低い傾向にあるのかも知れません。前年より数値の下降は見られるものの、ほぼ横ばいの状態と解されます。目標値を達成できました。
			目標値	49.3	49.9	50.5	51.1		
			実績値	41.1	40.3	52.2	51.6		
B	%	72.0	成り行き値	72.0	72.0	72.0	72.0	×	前年よりアンケートの設問を「歴史、伝統文化を通して合志市に愛着を感じている市民の割合」に修正しました。転入者が年々増加し、地域の歴史や伝統文化への関心が薄いのかも知れません。前年より数値の上昇は見られるものの、ほぼ横ばいの状態と解されます。目標値には届きませんでした。
			目標値	72.5	73.0	73.5	74.0		
			実績値	74.6	67.8	45.0	45.9		
C	%	61.1	成り行き値	61.1	61.1	61.1	61.1	×	前年よりアンケートの設問を「歴史、伝統文化を通して合志市に誇りを持っている市民の割合」に修正しました。転入者が年々増加し、地域の歴史や伝統文化への関心が薄いのかも知れません。前年より数値の上昇は見られるものの、ほぼ横ばいの状態と解されます。目標値には届きませんでした。
			目標値	61.4	61.7	62.0	62.3		
			実績値	62.3	57.5	35.2	37.8		

※【評価】 ○; 目標達成 △; 目標をほぼ達成(-5%) ×; 目標を未達成

事務事業数・コスト			28年度	29年度	30年度	1年度	
事務事業数		本数	7	8	6	5	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		都道府県支出金	千円	0	10,000	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	22	487	39	30
		繰入金	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	9,494	20,363	14,183	8,893
	事業費計 (A)		千円	9,516	30,850	14,222	8,923
(A)のうち指定経費		千円	0	0	0	0	
(A)のうち時間外、特殊勤務手当		千円	0	0	0	0	
人件費	延べ業務時間		時間	718	3,465	1,808	3,426
	人件費計 (B)		千円	2,683	13,708	7,127	13,577
トータルコスト(A)+(B)		千円	12,199	44,558	21,349	22,500	

3 施策の特性・状況変化・住民意見等

【1】施策の方針

・地域で伝承されてきた伝統的郷土芸能や歴史的な祭りの保存活動を行う団体の継承者の育成を支援します。

【2】協働によるまちづくりの具体策(市民と行政の役割分担)

ア)市民(事業所、地域、団体)の役割

・市民は、昔から伝えられてきた行事などに参加することで、歴史、伝統文化を継承するとともに、新しい文化を創造し伝えます。
 ・地域は、地域の歴史や伝統文化を守り、継承することによって住民間の連帯感を高めます。
 ・企業や事業所は、地域行事に積極的に参加し協力をを行います。

イ)行政の役割(市がやるべきこと)

・市は、文化財の保護、保存と施設の管理を適切に行います。
 ・市は、文化財や施設について、市民への啓発に努め、活用促進を図ります。
 ・市は、取り組んでいる地域の実情に応じた支援を行います。
 ・市は、学校教育と連携した子どもたちへの啓発を行います。

【3】成果指標の目標設定とその根拠(上段)・成果指標の測定企画(下段)

A	合志市の歴史、伝統文化に触れている市民の割合の成り行き値は、全体人口の増加率に比べ、極端な増減はないため平成26年度の実績値で推移すると設定しました。目標値は、資料館での特別展やまちめぐりふるさと探訪バスなどの充実に努め、文化財や伝統芸能の周知を図り、伝統文化である祭り等の支援を行うことと過去の実績値(伸び率)を踏まえて令和元年度は51.1%に設定しました。
B	合志市を郷土として愛着を感じていると答えた市民の割合の成り行き値は、全体人口の増加率に比べ、極端な増減はないため平成26年度の実績値で推移すると設定しました。目標値は、現状でも72.0%と水準は高いと考えますが、今後も指定文化財の掘り起こしや啓発に努めていくことで、郷土の再発見をしてもらう機会が増えることと、過去の実績値(伸び率)を踏まえて令和元年度は74.0%に設定しました。
C	合志市を郷土として誇りを持っていると答えた市民の割合の成り行き値は、全体人口の増加率に比べ、極端な増減はないため平成26年度の実績値で推移すると設定しました。目標値は、現状では61.1%の人が誇りを感じており、子どもたちが地域や学校で、歴史や伝統文化に触れ合う機会を設け、理解を深めてもらうことで、子どもたちを含め地域でも誇りを持ってもらえることと、過去の、実績値(伸び率)を踏まえて令和元年度は62.3%に設定しました。
D	

【4】施策の現状と今後の状況変化

(第1期計画策定当初)

- ・歴史資料館と郷土資料館の統合に向け、両館の収蔵物調査を進め、収蔵、展示方法、出土品作業等の機能やあり方の検討が必要です。
- ・文化財の標柱や案内板等が、老朽化による腐食や損傷が進んでおり、分かりづらくなってきています。
- ・伝統的郷土芸能や歴史的祭りの保存・継承活動を行う団体の会員の高齢化により、存続も難しくなっています。

【5】この施策に対して住民(対象者、納税者、関係者)、議会からどんな意見や要望が寄せられているか？

(令和元年度(平成30年度振り返り)の施策評価における議会意見)

- ①歴史資料館、図書館、マンガミュージアムが連携することで、郷土に愛着を持つ市民を増やすこと
- ②案内板設置や、美化作業等により文化財の環境整備に努めること
- ③他自治体と連携し新たな文化や伝統行事に取り組み、市民の情操教育に努めること
- ④合志市の出身者に向けて、歴史・伝統・文化をアピールすること

(令和元年度(平成30振り返り)の施策評価における総合政策審議会意見)

- ①観光と一体化して文化財の周知啓発を推進すること
- ②市の歴史や文化をさらに周知していく工夫をすること
- ③後継者の育成を支援すること
- ④地元出身者を活かした取り組みを通して郷土愛につなげていくこと

4 施策の評価

【1】 施策の振り返り(施策の方針、経営方針の達成度等)

※ 経営方針からの振り返り、貢献度評価の上位の事務事業を記載

(1) 令和元年度の経営方針からの振り返りは、以下のとおりです。

- ①「市の歴史・伝統・文化財を活用して、郷土愛の醸成に資する取り組みを進める。」については、文化財保護員による文化財パトロールを定期的実施し、文化財説明看板等の点検及び計画的な修繕を行いました。併せて、清掃管理等を地元地域にお願いし、整然とした環境を保つことによって郷土愛の醸成に努めました。
- ②「歴史・伝統・文化財を活用して、市民が関心を持てるよう周知啓発の工夫に努める。」については、合志市内外の大人を対象としたふるさと探訪まちめぐりバスでは、「金栗四三の故郷を訪ねて」など3回実施しました。また、子ども歴史科学体験教室は、子ども達に大変人気のある教室であり、「勾玉を作ろう」「古代の土器づくり」「不思議な科学手品」など10回実施しました。
- ③「歴史資料館、図書館、マンガミュージアムが相互に連携し、情報発信拠点として内容充実を図る。」については、歴史資料館で開催する特別展やマンガミュージアムのイベントなどを相互に連携し情報発信に努めました。
- ④「伝統文化の保存・継承・育成について、保存団体等との連携、支援を継続する。」については、地域にある伝統芸能団体への活動支援として補助金を交付しました。活動ができていない団体と話しをするも、一つひとつの課題解消には至りませんでした。
- ⑤「歴史・伝統・文化財施設の適切な保存維持管理を行う。」については、現在、収納庫として利用している旧給食センターの整理を行うとともに、山積されていた民具についても併せて整理整頓を行いました。収蔵施設としては適さない環境にあるため、引き続き効果的な保存及び維持管理に努めます。

(2) 事務事業貢献度評価の結果では、令和元年度施策の成果を向上させるために貢献した事務事業はありませんでした。

【2】施策の課題(第1期計画策定当初)

- ・地域の文化財等を案内するボランティアガイドを育成します。
- ・伝統文化や郷土芸能などを継承するための後継者を育成します。
- ・新しい住民への地域や文化財等を紹介する啓発活動を行います。

5 施策の令和元年度結果に対する審査結果

① 政策推進本部での指摘事項(施策目標達成度評価結果報告を受けて 令和2年7月21日)

- ・より合志市の歴史・文化を身近なものにするよう取り組むこと。
- ・合志市歴史資料館として内容の充実を図ること。
- ・遺跡、史跡など市民が関心を持てるよう環境整備を図ること。
- ・指定文化財の継承・育成のため地域の支援を図ること。
- ・マンガミュージアムは図書館と連携し、双方の魅力を引き出すよう工夫すること。

② 総合政策審議会での指摘事項(令和2年8月6日会議及び書面によるまとめ)

- ・伝統文化の後継者や語り部等の人材育成を行い、文化財や歴史の継承を支援すること。
- ・地域や学校等と連携し更なる周知に努めること。

③ 議会の行政評価における指摘事項(令和2年9月9日)

- ・子どもの時から市の歴史・文化・産業に親しむことができる環境整備に努め、郷土愛の醸成を図ること。
- ・地元自治会もしくは、保存会などと学校関係者で、連携した伝統行事に取り組むこと。

6 次年度に向けた取り組み方針

● 政策推進本部 令和3年度合志市経営方針(令和2年10月1日)

- ①郷土愛の醸成を図るため、小中学生がより身近に感じ、歴史・文化・産業に親しめる学習等の機会の提供に努めます。
- ②市の歴史・伝統文化の魅力を市内外から更に関心を持たれるような情報発信の工夫に努めるとともに、歴史資料館においては、図書館及びマンガミュージアムとの連携や内容充実に努めます。
- ③地域と学校が連携・協働する地域学校協働活動を推進し、伝統文化や郷土芸能などを継承するための後継者育成を支援します。